

\*このスクーリングは、HJ27とGA22の合同開講です。GA22の開講は、2025年度限りです。GA22のテキストで受講可能です。

専門教育科目	演習科目	受講料	5,000円				
科目名:	ストリートファッション論		科目コード	HJ27			
科目主査:	高島 克子	担当講師:	高島 克子	単位	2		
授業の目的と概要				グループワーク:	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク:	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
<p>ファッションは、街・ストリートとの関係において、互いに影響を与えながら、例えば原宿・渋谷・銀座・代官山などの話題のエリアとダイナミックな関係を築いています。そしてこの街には、新しいファッションをした（したい）若者が集います。本科目では、キーワードとなる「ストリートファッション」を、戦後から現在にわたる時代の移り変わりとともに現代の女子学生、ヤングファミリーなどの実態や親世代との関係、ファッション都市「東京」の変遷を通じて理解していきます。</p>							
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:					
履修の前提となる知識 その他特記事項	<p>初学者向けのスクーリングですが、テキストは通読し、全体の流れを把握しておいてください。事前学習は、重要です。事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングしておきましょう。</p>						
テキスト	『ストリートファッション論－日本のファッションの可能性を考える』, 渡辺 明日香, 産業能率大学出版部, 最新版						
この科目の到達目標	<p>ファッションの意味、歴史的な変遷、循環性について理解および説明でき、ファッションと街の相関性について、エリアの変遷、集う人々の特徴、建築や街の構造とファッションとの関連性が理解できる。また、ファッションの観点からそれぞれの時代を考察し、今後の自身の服装選択に応用出来る。</p>						
成績評価の方法	<p>授業態度を重視し、授業時間中の集中度合い、関心度・意欲を評価対象とします。 最終試験は、択一問題の配点を1問4点とし、15問。論述問題を1問40点とし、1問出題します。授業を聞くこと、重要な点はノートにまとめて下さい。 ※スクーリング全日の出席、個人/グループワーク・最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。</p>						
事後学習	<p>映画やドラマ、絵画など積極的に見る機会を作り、ファッションの変遷・ファッションと社会的・経済的背景の関連性のチェックを下記サイトやファッション雑誌・新聞、スマホアプリなどで継続して行って下さい。 [WWDジャパン] <a href="https://www.wwdjapan.com">https://www.wwdjapan.com</a>, [Fashion Press] <a href="https://www.fashion-press.net">https://www.fashion-press.net</a> など</p>						
事後学習の参考文献	<p>『モード後の世界』 栗野宏文、扶桑社、2020年（電子書籍 Kindle版有り） 『ジャパンファッションクロニクルインサイトガイド』 講談社、公益財団法人日本服飾文化振興財団、2022年 『「イノベーター」で読む アパレル全史』 中野 香織、日本実業出版社、2020年（電子書籍 Kindle版有り）</p>						
スクーリング受講時に用意するもの							
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 受講票（iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます）画面 <input checked="" type="checkbox"/> 学生証							